元気　友達　笑顔　いっぱい　かがやく

令和４年５月号

小田小だより

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西１丁目６９番１号　TEL045(775)3011

http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koda/　　横浜市立小田小学校

ともに学び合いながら伸びる

校長　　中川　浩二

各教室でライブ中継を見ながら朝会に参加

春のぽかぽかとした陽気が心地よく感じられます。新学期から数週間が経ちましたが、校内では子どもたちの笑顔、いきいきとした活気にあふれています。

さて、小田小では、毎週１回（月曜日または火曜日）、全校朝会を行っています。今は、放送室での児童の発表、校長や副校長の話などの様子を、タブレットを活用して各教室へライブ中継しています。先日の朝会で私より、絵本「教室はまちがうところだ」を紹介した上で、「教室では、自分の考えをたくさん友達に伝えてほしい」、「友達と学び合う中で、よりよく学んでほしい」、「まちがうことは、当たり前のこと、伸びるためのステップである」と全校児童に伝えました。

【「教室はまちがうところだ」Ｐ２～５】　　※ 太字・下線は、筆者による

教室はまちがうところだ

みんなどしどし手をあげて　まちがった意見を言おうじゃないか

まちがった答えを　言おうじゃないか

まちがうことをおそれちゃいけない　まちがったものをわらっちゃいけない

まちがった意見を　まちがった答えを　ああじゃないか　こうじゃないかと

みんなで出しあい　言いあうなかでだ　ほんとのものを　見つけていくのだ

そうしてみんなで　伸びていくのだ

小田小で児童が１日に過ごす時間の中で、授業（１コマ 45 分）が占める割合を調べてみると、６割程度です。学校生活の軸となるのは授業です。自分が考えたことが、たとえまちがっていたとしても、安心して友達に伝える雰囲気を醸成することが大切です。ある教室では、学級担任が「周りの友達と話してください」と声をかけ、周囲の友達と意見交換した後、クラス全体で、「ああじゃないか」、「こうじゃないか」と言い合うなかで、「学習のまとめ」をしていました。もちろん１年生と６年生では、「学び合う形態」に相違はありますが、児童同士が主体となって学び合う中で、学習効果が高まり、よりよいクラス（教室）につながっていきます。

他方で、大人の組織では、どうでしょうか。ＶＵＣＡという言葉があります。不安定で（volatile）不確か（uncertain）、複雑（complex）かつ曖昧（ambiguous）になっていくことの意味です。組織行動の研究者エドガー・シャインは、このＶＵＣＡの時代には、信頼し合い、率直に話せる関係をもち、一人一人が主体となって、ともに学び合う組織をつくることが大切であると述べています。この考え方は、「小田小の職員組織」においても重要であると、とらえています。

子どもも大人も、ともに学び合いながら成長することは同じです。ご家庭でも、お子さまと「ああじゃないか」、「こうじゃないか」と言い合いながら、学び合っていただければ幸いです。

【参考文献】

蒔田晋治・作　長谷川知子・絵「教室はまちがうところだ」（子どもの未来社　2015 年）

エドガー・Ｈ・シャイン　ピーター・Ａ・シャイン「謙虚なリーダーシップ」（野津智子訳　英治出版　2021 年）